



NOBORIBETSU

8月6日、市内のほぼ中心部を流れる来馬川で小学生を対象とした「ふるさとせせらぎ教室」が行われました。

これは登別市ふるさと広場実行委員会の主催によるもので、子供たちにゴムボートで川下りを体験してもらい、川の汚れを自分の目で確かめ、水をきれいにする方法や心を培ってもらうのが目的。

この日は小学生とその親など50人余りが参加し、普段体験できない川下りに大喜びで歓声を上げていました。

また、参加者は川沿いの清掃も行いました。

広報
のぼりべつ

'91.9.1
No.491

■人口/56,587 ■世帯/19,921 (前月比=人口+17・世帯+27)

①

9月の土曜閉庁(休み)は14日と28日です

万一の災害に

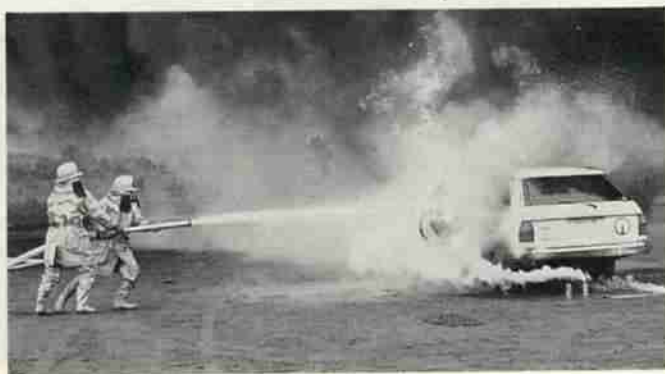
備えて……

登別市防災総合訓練が行われました



平成三年七月十日、登別東町四丁目広場において、大雨による災害を想定した登別市防災総合訓練が行われました。

当市では二年ぶりの実施となったこの訓練には、関係十八団体三百八十名余りの参加を得、本番さながらの真剣さで取り組まれました。訓練は、市防災計画に基づき住民への周知から避難誘導、ガス水道や電話回線の復旧、負傷者の介護など十六項目にわたり練り広げられました。このほか、日赤奉仕団や自衛隊による非常食の炊き出し訓練、実際に車を燃やしての消火訓練も行われ緊迫した雰囲気の中で、参加者一人ひとり人命優先の原則を確認していました。



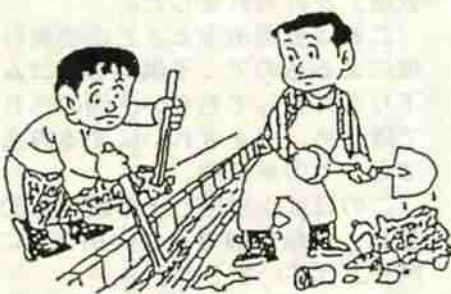
大雨に備えて

登別市は、地形上の特徴もあって局地的に、短時間に強い雨が降ると言われています。

予測が極めて難しい自然が相手だからといって何もしないではいけません。雨に對した確かな判断を行うことにより、いち早い避難行動を起こし人的被害を最少限に抑えることは、私たち自身の生命に対する責任行動です。雨が降ってきたら、何に注意し、どのような行動をとるべきか、防災について考えてみましょう。

◎備えは万全ですか

・家の周りの排水をよくするため、排水溝にたまっていくドロ・ゴミなどをとり除きましょう。



・浸水に備え、低いところにある電気製品などは一階や高いところに移しましょう。

・プロパンガスボンベや灯油カン

などの流れやすい物は、ロープなどでしっかり固定しましょう。

台風等が近づいたら

◎気象情報に注意しましょう

・テレビ・ラジオで最新の気象情報を聞きましょう。
異常時に発表される予報の意味を正しく知っておきましょう。

〈大雨情報〉

豪雨の心配のあるときに出される「警告」。豪雨が発生しやすい状態になりつつある、あるいはすでになっているという意味です。

〈大雨注意報〉

豪雨発生の可能性がある状況のもとで、実際に雨が降りはじめ、かなりの降水量となり、それが続くか、さらに強まると見込まれる場合の情報です。

〈大雨警報〉

雨量がさらに増えて降り続き、災害の発生も予想される場合の警戒を表す情報です。(たとえば胆振中部地域(登別を含む)で一時間雨量四十リ以上、三時間雨量六十リ以上、二十四時間雨量百リ以上降ると予想される場合に発表されるものです。)



- 停電に備えて懐中電灯・トランジスタラジオを用意しましょう。
- 断水に備えて飲料水を確保しておきましょう。
- 貴重品など非常持ち出し品を準備しておきましょう。(医薬品も忘れずに)

◎雨量判断は次のとおりです

- 一時間に五〜十ミリの雨
雨の音がよく聞こえ、たちまち水たまりができる。
- 一時間に十〜二十ミリの雨
一面に水たまりができ、雨の音で話もよく聞こえない。
- 一時間に二十〜三十ミリの雨
どしゃぶりで側溝があふれ、小さな川ははん濫するおそれがある。
- 一時間に三十ミリの雨
バケツをひっくり返したような激しい雨。

※十ミリの雨は畳二枚程の広さに石油カン(十八リ入り)二カンの水を、また、百ミリの雨はドラムカン(二百リ)の水をまいたのと同じような状態です。

**避難する
ときのために**

◎家族との連絡

家族が離ればなれになったときの連絡方法、最終的に集まる場所をあらかじめ決めておきましょう。また、子どもには住所、氏名、生年月日、血液型、保護者名、電話番号、はぐれた場合に出会う場所

所などを書いた「身元確認証」を身につけておきましょう。

◎いつでも避難できるように

- 飲料水は大人で一日二〜三リが目安です。赤ちゃんのいる家庭では粉ミルクを溶かす水が必要です。忘れずに準備しましょう。
- 非常用食品は、二〜三日分は用意しておきましょう。(カンパン、カップめんなど)
- 下着二〜三枚、靴下、毛布、レインコートなどを準備しておきましょう。
- ロープやヒモ、一尺程の棒などを用意しておきましょう。
- 懐中電灯や携帯ラジオ、太めのろうそく、ライター、マッチを用意しましょう。(予備の電池も忘れずに)

◎貴重品や現金は身につけるようにし、荷物はできるだけ整理して手荷物程度にしましょう。

● 洪水のときの避難方法
洪水のときに避難する場合は、足元に注意し、子どもやお年寄りに充分気を配ることが重要です。

● 歩ける深さ 歩ける深さは男性で約七十センチ、女性で約五十センチ。水深が腰まであるような場合は無理をせず、高い所で救助を待ちましょう。

● はき物 裸足は危険です。ヒモでしめられる運動靴を用意しましょう。

● 足元に注意 水面下にはどんな危険があるかわかりません。長い棒などを杖がわりにして安全を確かめながら歩きましょう。

● ロープでつながって お互いの体をロープなどで結び、はぐれないようにしましょう。特に子どもやお年寄りから目を離さないように。

● 体の不自由な人や幼児 体の不自由な人やお年寄りなどはできるだけ背負い、幼児は浮き袋、乳児はベビーバスを利用して安全を確保して避難させましょう。

危険がせまったら



◎早めに避難を

油断や家財道具への執着は、避難を遅らせ大事を招きます。自分の避難場所(次のページの表)を確認しておき、早めに避難しましょう。

◎身支度をしっかりと

避難は一刻を争います。服装は身軽で行動しやすいものを選びましょう。

◎身勝手な行動はとらない

避難先では責任者の指示に従い、無用な混乱をおこさないようお互いに身勝手な行動を慎みましょう。

災害を見たら

●異常現象を発見したら連絡・通報を

災害を発見したり、発生しそうなときは、市役所、消防署、警察、防災協力員へ連絡してください。

●デマにまどわされず、秩序を守る

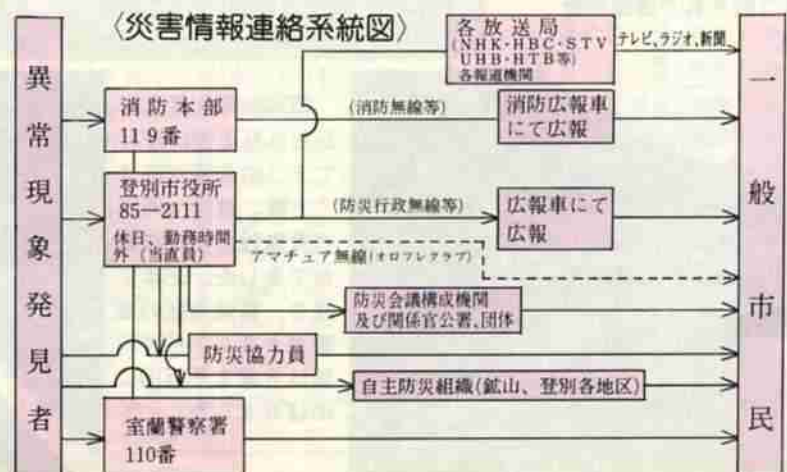
市は広報車などで情報の伝達や、避難場所などをお知らせします。災害時の情報に注意し、デマにまどわされず、ラジオやテレビなどの正確な情報で行動し、自分勝手な行動はやめ、助け合って秩序を保ちましょう。登別市地域防災計画の災害情報連絡は次のようになっています。

風水害のあとしまつ

- ◎危険物の漏れ出しはないか(毒物・農薬・プロパンガス・灯油等)確認しましょう。
- ◎断線している電線があれば電力会社へ連絡しましょう。
- ◎家屋への浸水被害があった場合は、念入りに消毒しましょう。(床下、庭、家の周りに石灰を)

させましょう。あとしまつをするときは、ケガをしないよう、肌を露出しない服装で(ヘルメットも着用しましょう)。

「話題スクランブル」は紙面の都合により今回休ませていただきます。



登別の過去の 大災害

自然の力は計り知れません。地震や台風・集中豪雨などによる災害は、私たちの財産ばかりでなく、命さえも奪い取ってしまう危険性をもっています。

登別の歴史の中にも、このような自然による災害が数多く記録されています。

特に、今日まで最も多く発生しているのは、大雨による災害です。当市は、気候や地形上の点から胆振地方でも代表的な集中豪雨地帯とされています。そして、その発生回数や規模から、登別の自然災害の歴史は、大雨災害の歴史と言っても過言ではありません。

大雨災害の歴史の中で、昭和三十六年十月の集中豪雨は、死者まで出す大惨事となりました。また、昭和五十八年九月に発生した大雨災害もその規模から歴史に残るものとなりました。大規模災害であったにもかかわらず一人の死傷者もなかったのは過去の水害の教訓

を生かし、避難誘導などが適切に行われた結果でもありました。

昭和五十八年の災害以降、大きな災害は起こっていません。しかし、「災害は忘れたころにやってくる」と言われるように心のスキをつかれての災害は、やはり大きな被害をもたらします。災害に対する備えを常に心がけておきたいものです。

昭和三十六年の災害

昭和三十六年十月五日から六日にかけて降り出した雨は、強いものでしたが、豪雨というほどのものではありませんでした。室蘭地方気象台からは五日午前十一時に風雨注意報が出されていました。六日午前中は小降りでしたが正午を過ぎて真黒い雲が山をおおい不気味な様相を呈していました。気象台から今後の雨量は山沿いで三百ミリに達するとの情報で、役

場は緊急に防災体制をとりました。午後四時、各河川が急激に増水、住民に避難命令が出されましたがその一時間後、全河川がはん濫しはじめ、濁流が市街地に流れ込み、死者四名、行方不明者七名、家屋の全・半壊三十七戸、道路や橋などの公共施設も壊滅的な被害を受けました。

昭和五十八年の災害

昭和五十八年九月二十四日から二十五日にかけての集中豪雨は、一晩で五百八ミリを記録（一日の雨量では北海道で最高）。特に、三時間での雨量三百三十八ミリは気象庁開設以来、全国で三番目の記録となりました。

この豪雨で岡志別川、サト岡志別川、伏古別川、ボンアヨロ川が一気にはん濫。その流れが千歳町、新栄町、幌別町、中央町、登別東町の各地区を襲いました。

特に登別東町三・四丁目ではほとんどの住宅が土砂に埋まり、登別厚生年金病院は、裏山が崩れて壊滅的な被害を受けました。水道施設も被害を受け四日間断水が続きました。また、道道洞爺湖登別線が三百ミリにわたって崩壊するなどの大災害となりましたが、避難誘導なども適切に行われ一人の死傷者もなかったのは不幸中の幸いでした。

昭和55年8月、低気圧による大雨が29日から31日まで続き、民家14戸全壊、11戸が半壊するなどの被害がでました。特に富浦地区では、国道36号線が土砂くずれで完全に交通不能（写真）となりました。



昭和58年9月24日から25日にかけて低気圧により一晩で508mmの大雨が降り、特に3時間で330mmの雨量は気象庁開設以来3番目の記録となりました。

写真は寸断された道道洞爺湖登別線



昭和56年8月上旬から9月上旬にかけて3つの台風が続いて上陸。道路、河川、教育施設などに被害がでました。55年に続き、富浦地区の被害が大きく、被害総額は8億8千万円にのぼりました。



避難場所の確認を しておきましょう

災害から生命を守る場所、それが避難場所です。

市は、市内各所に一時避難所（屋外51か所）と収容避難所（屋内85か所）を別表のとおり設けています。万一の災害に備えて避難場所を確認しておきましょう。

▷一時避難所 災害のため、一時的に避難し様子をみるための公園や広場、グラウンドなどです。

▷収容避難所 避難した人たちの収容するための施設です。

◎避難場所へのルートの確認

避難場所への道順は、必ず家族全員で確認しておきましょう。どこの避難場所へどのように行くのか2つ以上の場所と経路を知っておきましょう。

一時避難所（屋外避難所）

番号	避難所の名称	所在地
1	カルルスサンスポーツランド	カルルス町1-3
2	登別温泉小学校グラウンド	登別温泉町184
3	登別温泉中学校グラウンド	登別温泉町123
4	登別温泉ケーブル駐車場	登別温泉町224
5	旭公園	登別本町1丁目18-1
6	登別小学校グラウンド	登別本町3丁目25-2
7	登別中学校グラウンド	登別本町1丁目1-1
8	札内小中学校グラウンド	札内町73
9	幌別中学校グラウンド	千歳町3丁目2
10	市営陸上競技場	千歳町3丁目4
11	幌別東小学校グラウンド	幌別町8丁目16
12	幌別1号公園	幌別町4丁目19-1
13	常盤公園	常盤町2丁目35-1
14	幌別小学校グラウンド	中央町6丁目19-1
15	西公園	中央町3丁目10-1
16	中央公園	中央町3丁目21-1
17	北公園	中央町5丁目20
18	緑ヶ丘公園	中央町7丁目30
19	東公園	中央町1丁目13
20	柏木公園	柏木町1丁目28
21	富士2号公園	富士町5丁目7
22	富士1号公園	富士町7丁目1-8
23	市民会館駐車場	富士町7丁目33
24	幌別西小学校グラウンド	片倉町5丁目15-4
25	西陵中学校グラウンド	片倉町5丁目12-1
26	新川公園	新川町3丁目7-14
27	かえで公園	新川町4丁目無
28	桜木公園	桜木町4丁目6
29	のぞみ公園	桜木町2丁目26
30	青葉小学校グラウンド	青葉町3丁目3
31	総合体育館駐車場	若山町2丁目26
32	緑陽中学校グラウンド	富岸町1丁目11
33	富岸小学校グラウンド	富岸町2丁目7-11
34	くさぶえ公園	新生町3丁目14
35	ことぶき公園	新生町1丁目24
36	なかよし公園	新生町4丁目3
37	わらべ公園	新生町2丁目15
38	榎の木公園	栄町1丁目4-1
39	めばえ公園	若草町4丁目4
40	のびのび公園	若草町4丁目20
41	さわやか公園	若草町2丁目10
42	めぐみ公園	若草町2丁目32
43	若草1号公園	若草町3丁目11
44	若草公園	若草町1丁目2
45	若草小学校グラウンド	若草町1丁目1-2
46	鶯別小学校グラウンド	鶯別町4丁目36-1
47	鶯別中学校グラウンド	鶯別町4丁目36-2
48	わかば公園	鶯別町2丁目29
49	室蘭自動車学校練習場	美園町4丁目23
50	美園町5丁目広場(児童センター)	美園町5丁目36
51	市民研修センターグラウンド	鉾山町8

収容避難所（屋内避難所）

番号	避難所の名称	所在地	電話
1	カルルス婦人研修の家	カルルス町27-1	84-2172
2	登別温泉公民館	登別温泉町17	84-3209
3	登別温泉小学校	登別温泉町184	84-2062
4	登別温泉中学校	登別温泉町123	84-2069
5	登別温泉保育園	登別温泉町92	84-3078
6	老人憩の家園	登別温泉町153-1	84-2440
7	老人憩の家園	中登別町152	83-1985
8	登別公民館	登別東町2-21-2	83-1131
9	老人憩の家園	登別東町2-21-1	83-3309
10	登別児童館	登別東町4-19-2	83-3493
11	老人憩の家園	登別東町4-38	83-1988
12	婦人センター	登別東町3-7	83-3511
13	老人憩の家園	登別東町5-13-6	83-3372
14	登別中学校	登別本町1-1-1	83-1029
15	老人憩の家園	登別本町1-1-1	83-2475
16	青少年会館	登別本町1-18-1	83-3399
17	登別小学校	登別本町3-25-2	83-1014
18	富浦会館	富浦町1-46-4	83-2481
19	富浦児童館	富浦町1-52	83-1987
20	札内小中学校	札内町79	85-3184
21	老人憩の家園	札内町73-1	88-0706
22	老人憩の家園	幸町5-27-4	85-8034
23	幌別東小学校	幌別町8-16	85-3532
24	老人憩の家園	幌別町7-18-1	85-3860
25	老人憩の家園	幌別町3-18-2	85-4560
26	鉄南ふれあいセンター	幌別町3-17-4	85-2966
27	幌別児童館	幌別町4-10-3	85-2802
28	東団地集会所	幌別町8-12	85-8000
29	老人憩の家園	千歳町101-1	85-8032
30	老人憩の家園	千歳町4-6-3	85-2066
31	幌別中学校	千歳町3-2	85-3111
32	幌別小学校	中央町6-19-1	85-2521
33	登別青少年会館	中央町5-21-12	85-3107
34	老人憩の家園	中央町5-13-7	85-4982
35	老人憩の家園	中央町3-10-1	85-4994
36	常盤婦人センター	常盤町2-34-1	85-8039
37	老人憩の家園	常盤町3-26-1	85-4564
38	老人憩の家園	常盤町2-35-1	85-8025
39	柏木婦人センター	柏木町4-24-8	85-1079
40	老人憩の家園	柏木町4-31	85-8040
41	老人憩の家園	柏木町4-24-11	85-1079
42	柏木団地集会所	柏木町1-28	88-0312

番号	避難所の名称	所在地	電話
43	富士会館	富士町7-2-1	88-0722
44	富士幼稚園	富士町7-1-1	85-9511
45	富士保育所	富士町7-2-1	85-2557
46	老人憩の家園	富士町1-1-4	85-4992
47	老人福祉センター	富士町7-11-1	88-1303
48	幌別西小学校	片倉町5-15-4	85-2364
49	西陵中学校	片倉町5-12-1	85-5041
50	老人憩の家園	片倉町3-14-1	85-8041
51	新川婦人センター	新川町4-15-11	85-8037
52	老人憩の家園	新川町3-6-30	88-1940
53	老人憩の家園	緑町1-3	85-4995
54	桜木婦人センター	桜木町2-18-1	85-1244
55	老人憩の家園	桜木町2-19	85-4561
56	総合体育館	若山町2-26	85-5552
57	老人憩の家園	若山町2-9-2	88-0156
58	市役所第二庁舎	中央町6-11	85-2111
59	市民会館	富士町7-33	88-1100
60	市民研修センター	鉾山町8	85-2569
61	緑陽中学校	富岸町1-1-11	85-5409
62	富岸小学校	富岸町2-7-2	86-6303
63	富岸青少年会館	富岸町2-11-1	86-2449
64	老人憩の家園	富岸町1-3-2	85-4980
65	婦人研修の家	栄町2-7-5	86-9918
66	老人憩の家園	栄町1-10	86-9902
67	老人憩の家園	栄町4-24-3	86-6959
68	富浜児童館	栄町2-18-4	86-7187
69	鶯別中学校	鶯別町4-36-6	86-7950
70	鶯別小学校	鶯別町4-36-21	86-7011
71	鶯別公民館	鶯別町3-3-4	86-8823
72	鶯別青少年会館	鶯別町4-36-1	86-6515
73	老人憩の家園	鶯別町4-36-11	86-6515
74	老人憩の家園	鶯別町1-26-2	86-9916
75	鶯別児童館	鶯別町1-36	86-2766
76	千代の台集会所	新生町3-13-1	86-6917
77	老人憩の家園	新生町5-23-21	86-5348
78	若草小学校	若草町1-1-2	86-7513
79	若草幼稚園	若草町2-11	86-1722
80	若草婦人センター	若草町2-2-7	86-9919
81	美園婦人センター	美園町4-8-1	86-6975
82	老人憩の家園	美園町5-15-4	86-7010
83	老人憩の家園	美園町4-8-1	86-6975
84	美園児童センター	美園町5-36-3	86-4591
85	老人憩の家園	上鶯別町117-26	86-9910

利用効率の高い 施設整備を目指して

公共施設の整備方針(案)



市は、昨年から既存施設の役割や市民ニーズの動向を踏まえ、合理的で利用率の高い公共施設のあり方について調査検討を進めてきました。

この度「公共施設の整備方針(案)」をとりまとめましたので、その概要をお知らせします。

今後は表Ⅰの日程により、町内会長など地域の代表の方々にお集まりいただき説明会を開きます。その後行政改革懇談会に諮問し、答申を得て「公共施設の整備方針」を決定することとしています。

現状と課題

市は、これまで市民の利用に供する各種公共施設の整備を図ってきました。現在の施設数は、百四十五施設となっています。

本市は、市街地形成が市内四地区に分かれていることから、同じ人口規模の他市にくらべて公共施設の数においてはかなり高い整備水準にあるものの、施設ごとの質をみた場合には老朽、狭い施設が多数あります。このためこれら公共施設については、社会経済の変化や市民のニーズに適切に対応し得るよう整備を進めていく必要がありますが、同時に、本市の財政状況は依然として極めて厳しいものがあり、限られた財源、人員を有効に活用して簡素で効率的な行政運営に一層努めなければならない状況にあります。

このような財政状況を踏まえ、今後、各種公共施設の維持補修及び新規整備については、財政運営の健全に努めながら進めていく必要がありますので、この度公共施設の総合的な見直しを行ったものです。

なお、今回見直しの対象とした施設は、本庁舎、清掃工場、市牧場などを除く百三十二施設となっています。

整備方針

公共施設は、集会施設、保育所支所、消防、児童館、小中学校、幼稚園など各種施設があり、それぞれ設置目的、利用形態等が異なっているため、施設の類型ごとの検討を行い、併せて共通する考え方として次の視点から検討を行いました。

- ① コミュニティ、文化、教育、福祉等の市民ニーズを的確に反映する。
- ② 各種補助制度等を積極的に活用し、財源の重点的、効率的な運営を図る。
- ③ 施設規模機能のあり方、適正配置箇所、建設用地等広い角度から検討し類似施設の統廃合を図り、効率的な管理運営を図る。

表Ⅰ 説明会日程表

地区名	実施月日(曜日)	実施時間	説明会場
梶別地区	9月9日(月)	午後6時	鉄南ふれあいセンター 3F大ホール
登別地区	9月11日(水)	午後6時	登別公民館1Fホール
登別温泉地区	9月13日(金)	午後1時30分	登別温泉公民館 2Fホール
鷺別地区		午後6時	鷺別公民館2Fホール

集会施設

集会施設は、市民会館を拠点に、公民館、鉄南ふれあいセンターなどの大規模施設、富士会館、富浦会館の中規模施設、更には小規模施設として老人憩の家四十か所、婦人研修の家八か所などの施設があり、全体として六十三施設を有しています。

そのうち小規模施設は、施設の名称にかかわらず主に町内会単位の集会所として、会合、サークル活動などに利用されており、その管理・運営は、町内会が自主的にを行っています。

なお、修繕、改修は、市の負担において行っています。



ふれあいセンター



富浦コミュニティ集会所

小規模施設は、市民が均等に利用できるような配置となっていないこと、特に人口急増地域においては、その整備が進んでいない状況にあります。

また、既存の施設の多くが老朽化が著しく、かつ、狭い状況にあります。

このため、老朽狭い施設の改築要望及び施設利用が不便な地域からの新設要望も数多く出されています。

しかしながら、現在の市の財政状況では、従来と同様な形態で整備を進めていくことは極めて困難な状況にあり、整備のあり方を見直し、管理運営方法を含めた整備方針を策定する必要があります。

建設について

① 新たに施設を設置する場合には、表Ⅱ「配置基準」により整備を行うこととします。

この場合には、複数の町内会等が当該施設を自主的に管理するものとなります。

② 「配置基準」により、中規模施設を新設する場合には、地域内の小規模施設は廃止することとします。ただし、町内会などが廃止する施設を自主的に管理することを希望する場合には、一定の補修・修繕を行ってうえでこれを貸与することとします。

③ 中規模施設が新設されるまでの間は、地域内にある既存の小規模施設は従前のとおりとし、

建替及び増改築は、原則として行わないこととします。

④ 市が管理運営する小規模施設は、廃止することとします。

ただし、廃止する施設を自主的に管理することを希望する場合は、②と同様とします。

管理について

① 中規模施設が新設されるまでの間は、既存の小規模施設の補修・修繕については、従来と同様に市がその費用を負担することとします。

② この整備方針に基づき新設する小規模施設の補修・修繕に係る費用は、自主管理する町内会の負担とすることとします。

③ この整備方針により設置する施設及び町内会に貸与される施設の管理に要する経費の一部を助成することとし、別途定めることとします。

表Ⅱ 配置基準

区分	規模	利用範囲	世帯・人口	備考
中規模施設	A型	600㎡以内	半径1km程度 単位・複数の連合町内会	おおむね 世帯 1,500以上～ 人口 5,000以上～ 地域コミュニティ センター規模
	B型	300㎡以内	半径1km程度 複数の町内会	おおむね 世帯 500以上～1,500未満 人口2,000以上～5,000未満 富士会館規模
小規模施設	150㎡程度	半径500m程度 町内会	おおむね 世帯 100以上～ 500未満 人口 300以上～1,500未満	老人憩の家規模 既存利用施設(集会等の用に供する施設を含む)の利用範囲内(半径500m程度)であっても、この施設の利用対象者数の大半(単位は町内会で世帯100以上かつ人口300以上)が地理的条件により往路500mをこえる場合も含む。

保育所



保育所は九か所ありますが、その収容率を見ると平成三年度は総定員六百七十五人に対し、入所者三百十八人で四十七・一％と大幅な定員割れの状況にあります。その原因としては、乳幼児人口の減少ということが考えられますが、今後においても乳幼児人口は引き続き減少傾向で推移するものと予測されます。

このため、施設の統廃合を行うことよって適正配置を図る必要があります。

一方、障害児保育や延長保育などのニーズがありますので、この点についても検討し、保育内容の充実を図る必要があります。

○ 桜木保育所を平成四年四月か

ら富士保育所に統合することとします。

○ 美園保育所を平成四年四月から鷺別保育所に統合することとします。栄町保育所は、将来、山側の適地に移転改築することとします。

○ 登別保育所を適地に移転改築し、その時期に併せて富浦、登別温泉保育所を統合することとします。

○ 障害児保育や延長保育など保育内容の充実についても検討します。

支所

三支所のうち、登別支所は、老朽かつ狭いいため、施設としての機能を十分果せない状況にあるため改築等が必要となっています。



○ 登別温泉支所、鷺別支所は現状のまま活用を図ることとします。

○ 登別支所は、併設されている公民館、消防の見直し計画と併せて整備することとします。

この場合は、支所、老人憩の家を含めたコミュニティ施設としての検討を行うほか、消防機能も含める施設にするかどうかなども検討することとします。

消防

消防施設の多くは、老朽かつ狭い状況にあります。また、新生・若草地区をはじめとする新たな市街地の形成が進むなかで、現行消防施設の配置について見直しを図らなければならない状況にあります。

施設整備と併せて消防機動力の整備、常備消防体制の整備など消防力の強化を図る必要があります。

「本部・本署」

○ 市内全域のバランス、将来の支署の消防区域を考慮し、幌別地区内において現庁舎より鷺別側に設置することとします。

○ 庁舎の新築に当たっては、防災コミュニティセンターの機能を有することも検討することとします。

○ 庁舎建設に併せ富士分遣所と幌別分遣所を廃止することとし、当分の間、分団の拠点として活

用することとします。

○ 登別温泉支署は、将来の消防機動力等の整備も考慮して適地に改築することとします。



○ 登別出張所は、支所等の建替計画に併せて整備することとします。

なお、必要に応じ、単独施設としても検討することとします。

○ 鷺別支署は、長期的には建設位置の検討を要しますが、当面は、本部・本署の移転改築により対応することとし、施設の整備と活用を図ることとします。

なお、美園分遣所は廃止することとします。

児童館

児童館は、八館ありますが利用に不便な地域があり、また一部施



設については老朽化が進んでいきます。このため、今後、地域の児童生徒数等の状況を考慮して整備を図る必要があります。

○ 現行施設については、必要に応じ補修等を行い、その有効活用を図ることとします。

○ 施設の利用が不便な地域に将来集会施設（中規模施設A型）を新設する場合には、児童館に準じた機能を持たせることとします。

福祉施設

急激な高齢化の進行、家族形態の変化等に伴い、福祉ニーズも多様化し、増大する傾向にあります。このため、高齢者や障害者に対しましてきめ細かな対応を行える福祉施設の整備を図る必要があります。



○ 将来を展望した福祉活動の拠点となる総合福祉施設を設置することとします。小規模通所授産施設については、総合福祉施設に併設し、機能の充実を図ることとします。

○ 老人福祉センター、養護老人ホーム、老人趣味の作業所、し体不自由児通園施設については、現状の活用を図ることとします。

オロフレ荘

オロフレ荘は、昭和三十四年に国民宿舎としてカルルス温泉の観光・地域振興に先導的役割を期して設置し、今日に至っています。この間カルルス温泉の知名度も上がり、設置目的、役割は十分果たされたと考えられます。一方、オロフレ荘の経営状況は、

昭和五十三年度から実質的な赤字が続き、平成二年度一般会計の負担は一千二百万円となっております。

更に、施設の老朽化から各種の改修、修繕が必要となっていることや土地、お湯の権利は第三者の保有となっており、また、調理士の人材確保が難しいことなどの課題を抱えています。

○ 国民宿舎を廃止し、民間にゆだねるものとします。

小・中学校

就学前の幼児数が年々減少しており、今後も区域による差異はあるものの全体的に減少するものと予測されます。

各小中学校における学級数、教育施設としての規模、教育効果などを総合的にみたととき、登別温泉札内の小中学校においては、教育施設の老朽化から改修、修繕が必要となつていくこと、児童生徒数の減少に伴う学級数の減及び将来的に複式学級へ移行せざるを得ない状況にあること、へき地校は就学児童生徒の集団活動に限界があり、社会性を育てる機会も乏しいものとなることなどから統廃合を行い適正配置を図る必要があります。

○ 登別温泉小学校、中学校は、それぞれ登別小学校、中学校に将来統合することとします。廃校後の校舎の活用は、地域

の施設として利用する方向で検討することとします。

○ 札内小中学校は、幌別小学校の改築を契機に幌別小学校及び幌別中学校に統合することとし、通学バスを運行することとします。

○ 廃校後の校舎の活用は、地域の施設として利用する方向で検討することとします。

○ その他の小・中学校は、近い将来、各学校に空き教室が生じることから今後、その有効利用を検討することとします。



幼稚園

市立幼稚園は三園、私立幼稚園は四園ありますが、平成三年度における就園率は、市立六十三・五、私立八十二・三と定員割れ

の状況にあります。入園対象児童の減少は、今後も続くものと予測されますので、就園率の現状維持も難しくなるものと考えられます。

なお、道内三十二市における幼稚園は、四百二十三園中私立が三百八十五園とほとんどが民間にゆだねられている状況にあります。

○ 今後幼稚園教育は、原則として私学にゆだねることとし、乳幼児人口の動態や私立幼稚園の整備状況に併せ市立幼稚園は順次廃止することとします。

○ 私立幼稚園の入園者数との整合性のとれる時期を目標に廃止することとします。

○ (若草) 私立幼稚園の受入体制を踏えて将来において廃止することとします。

○ (登別温泉) 現在地が登別温泉バイパス路線となることから立退きに併せ廃止することとします。

体育施設

近年は、市民の余暇時間の増大と生活意識の変化等によって、スポーツ、レクリエーション活動の普及はめざましいものがあり、施設の効率的整備運営を図ることはもとより、学校体育施設の有効活用を図るなどして、市民ニーズの動向に、こたえていく必要があります。

ます。

○ 総合体育館、青少年会館、室内プール、その他の体育施設については、既存施設を活用し、その整備充実を図ることとします。

○ 武道館の建設について検討を進めることとします。



社会教育施設

社会教育施設のうち図書館、郷土資料館などは、文化的教養を高める場として、その活用に積極的にこたえていく必要があります。

○ 現行施設の活用を図ることとします。

第4回

登別市民健康まつり

〈ヘルスパイオニアタウン事業〉

とき 9月21日・22日
ところ 登別市民会館



自分の健康は自分で……

問題について真剣に取り組み、快適な生活環境・まちづくりについて考えることが重要です。市民の皆さんもぜひ参加し、自分自身の健康や快適な生活を送るための環境問題について考えてみませんか。※来場された方には記念品や参加賞を用意しています。

市は、昭和六十一年度から市民の健康づくりを目指してヘルスパイオニアタウン事業を行ってまいりました。この事業は、人生八十年代を迎え、誰もが健康で快適な生活をおくれるよう、あらゆる機会を通じて健康について考えていこうとするものです。

今年、「市民みんなの健康づくり」をテーマに誰もが健康で快適な生活をおくれるよう「第四回登別市民健康まつり」を開催します。この健康まつりでは、自らの健康は自らで作り出すという考え方の大切さを知ってもらうために各種健康相談・コンピュータによる健康な生活を送るためのアドバイスなど病気に負けないからだづくりのお手伝いをするコーナーなど多彩な催しを行います。

第4回登別市民健康まつり行事内容

（会場）市民会館

行事名	日時	場所	内容	備考
体力測定コーナー	9月21日～22日 10:00～17:00	中ホール	握力、前屈、ジャンプ力などの計測。輪投げコーナー、マイコン体重計もあり。（粗品進呈）	22日は15:00で終了
機能訓練作品展	9月21日～22日 10:00～17:00	2階廊下	機能訓練者の作品展	同上
各種健康相談コーナー	9月21日～22日 10:00～17:00	中ホール	血圧、血糖検査、栄養相談、減塩食試食コーナー	同上
健康クイズコーナー	9月21日～22日 10:00～17:00	中ホール	クイズに解答しながら健康意識の向上を図る。（正解者に賞品進呈）	同上
休憩コーナー	9月21日～22日 10:00～17:00	2階廊下	椅子、お茶などを用意し、来場した市民が休憩。	同上
コンピューター・ミニドック	9月21日（土） 10:00～16:00	児童室	個人のデータ入力後、コンピューターが健康生活のアドバイスをします。	
継続受診者記念品贈呈	9月21日（土） 12:30～13:00	正面受付	5年連続胃ガン、成人病検診継続受診者に記念品を贈呈。	
健康講演会	9月21日（土） 13:00～14:00	大会議室	地元医療機関の医師による健康に関する講演会 ○講師：登別厚生年金病院内科部長 藤田英雄先生	
ヘルシー・試食コーナー	9月21日（土） 12:00～14:00	中ホール	健康に役立つ料理の試食会	
腰痛体操講習会	9月21日（土） 13:00～15:00	サークル活動室	腰痛を予防するためのストレッチングなどの講習会 ○講師：登別厚生年金病院理学療法主任技師 高橋善雄先生	事前申込必要 ☎85-1771（内133）
消費生活展	9月21日（土）～ 22日（日）	中ホール	「資源を大切に」…物品の展示、実演、道産米の試食など。 【年金相談コーナー】…年金受給やその他年金制度一般の相談を受付。	22日は15:00で終了
ごみいろいろポスター・標語展	9月21日～22日 10:00～17:00	1階廊下	小・中学生による標語・ポスター展。	*
リサイクル・フェア	9月22日（日） 10:00～10:45	エントランス・ホール	各家庭、町内会及び各団体などから出た不用品の即売会。	
ごみいろいろポスター・標語コンクール表彰式	9月22日（日） 11:00～11:15	大ホール	ごみいろいろポスター・標語コンクールの各入賞者の表彰式。	
ごみフォーラム	9月22日（日） 11:15～12:15	大ホール	ごみの減量化、再資源化に関するフォーラム。（記念品贈呈）	

※申し込み・問い合わせ／登別市保健衛生課（☎851771）



◎体力測定コーナー
 ▷内容 握力、前屈、ジャンプ力などの計測や輪投げコーナー、マイコン体重計なども用意しています
 ▷日時 10月21日～22日（2日間）午前10時から午後5時（22日は午後3時で終了）
 ▷場所 市民会館中ホール



◎腰痛体操講習会
 ▷内容 腰痛を予防するための体操や講演
 ▷講師 高橋善雄先生（登別厚生年金病院理学療法主任技師）
 ▷日時 9月21日 午後1時～午後3時
 ▷場所 市民会館サークル活動室



◎消費生活展
 ▷内容 「資源を大切に」…物品の展示、実演、道産米の試食（22日は生ずしの試食があります）
 ▷日時 9月21～22日 午前10時～午後5時（22日は午後3時まで）
 ▷場所 市民会館中ホール

活躍してます!!

保健推進員



「保健推進員」。あまり聞きなれない名称ですが市内には五十六名の方がいます。
 この「保健推進員」は、各地区の住民の人たちの健康づくりのため、市と連絡調整などを行う、いわば「健康づくりのパイプ役」と言えます。

西川上町内会の保健推進員である川原田さんは、同町内会の婦人部長を務める傍ら六年前から保健推進員として活躍されています。
 「自分から進んで保健推進員をやってみよう、と思ったのではないのですが、婦人部長を引き受けたとき町内会長から言われて引き受けたのがきっかけですね。研修などで他の地域へ行き、たくさんの人とお話ししたりできるのがうれしいです。この仕事は地域のためである反面、自分のためでもあるんですよ」
 同町内会婦人部部長二百四十名余りのまとめ役として忙しい毎日を送っていますが、皆さんとても協力的で逆に助けられています。九月二十一日の健康まつりではヘルシー・試食コーナーを担当します。

消費者コーナー

川の汚れを考えよう
 「台所」は海への入口

とき汁は肥料 油は生ゴミに

最近、産業排水の規制が厳しくなり、川の汚れの主な原因は家庭から出る生活排水と言われています。あなたのちよつとした心づかいで大切な川の汚れを防ぎましょう。

●みそ汁やスープを作り過ぎて台所へ捨てる魚が住める状態の水にするために、みそ汁一杯分で風呂おけ五杯分程の水が必要と言われています。食べる分だけの量を作るように心がけましょう。

●一回米をとぐために二～三割のとき汁が出ますが、この場合もきれいな水にするために風呂おけ五～六杯分程の水が必要です。

米のとき汁の栄養分が微生物の繁殖を促すので庭や植木に与える肥料となります。また、天ぷらなどで使った油は、さめないうちにし紙でこしてためるものなどで使い切るようにしましょう。もし捨てる時は、布や紙で吸い取ってから中性洗剤で洗いましょう。



札内台地に全員集合
 イベント参加者募集

大地の祭典実行委員会は、次のイベントの参加者を募集しています。札内台地「ソウシャルグリーン」で秋を肌で感じてみませんか。

◎乾燥投げ大会（賞品多数）
 ▷期日 九月七日（土）・八日（日）
 ▷募集人員 男子五十名、女子三十名、子供三十名

◎紙飛行機大会（賞品一位～三位）
 ▷期日 九月七日（土）
 ▷募集対象 中学生以下（材料費として三百円自己負担）

◎キャンプ大会、天体観測
 ▷期日 九月七日（土）

◎草原鉄人レース（優勝五万円）
 ▷期日 九月八日（日）
 ▷募集人員 十六組（五名一組）
 ▷申し込み・問い合わせ 登別市桜木町一―二十（☎881668）
 大地の祭典実行委員会事務局

軟式庭球教室参加者募集
 登別軟式庭球協会は、軟式庭球教室を開きます。

▷日時 九月七日～十月五日までの毎週土曜日、午後二時～午後四時

▷場所 市営テニスコート

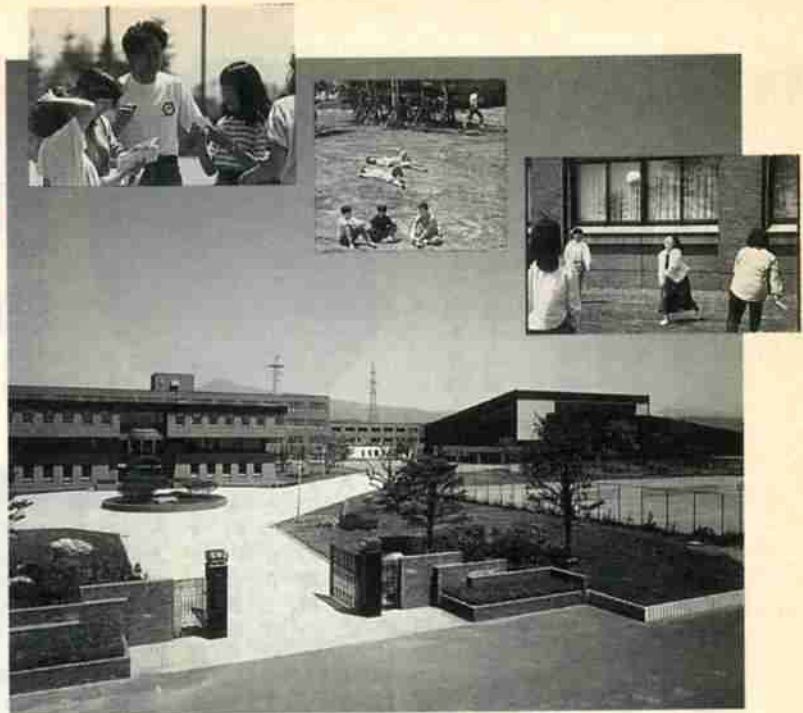
▷対象 一般男女（初・中級者）

▷受講料 二千五百円

▷申し込み・問い合わせ 寺田貞由さん（☎2295）九月六日まで電話で申し込みください

10th

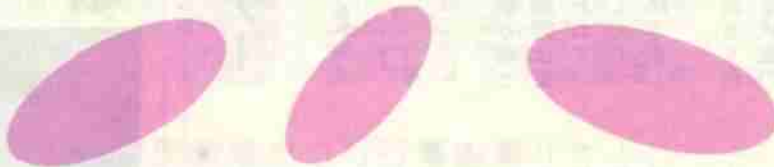
地域と歩んで10年間
日本工学院北海道専門学校
おかげさまで10周年



昭和五十七年、市民一丸となって誘致をした日本工学院北海道専門学校が開校して早くも十年。

いまや、名実ともに北海道を代表する専門学校として成長を遂げ、登別市にとってもかけがえのない高等教育機関として大きな存在となりました。

豊かな自然に恵まれたキャンパスでは約千名の学生が勉学に、スポーツに若い情熱を燃やし、まちなかでは、市民とのあたたかい交流の輪が広がっています。



クロニクル

10年の歩み

昭和五十四年四月 登別市より学校法人日本電子工学院理事長片柳鴻氏に対し北海道専門学校設置を要請

昭和五十四年九月 北海道専門学校に関する調査研究会の設置

昭和五十五年三月 北海道専門学校校の進出を決定

昭和五十五年六月 登別市と日本電子工学院で第一回設立委員会開催、建設用地の現地調査

昭和五十五年十一月 建設に着手、地鎮祭

昭和五十六年一月 校名を日本工学院北海道専門学校に決定

昭和五十六年九月 専修学校（工業専門課程）の設置認可

・初代校長に理学博士中山浩資氏就任

昭和五十六年十月 第一期生募集開始

昭和五十六年十月 本部棟・教室棟完成。落成披露

昭和五十七年三月 男子寮女子寮（新川）完成

昭和五十七年四月 第一回入学式



昭和57年4月第1回入学式



昭和55年11月地鎮祭

卒業生総数三千二百人

日本工学院北海道専門学校は、「工業技術の発展と文化の進展に寄与することによって地域社会の建設と人類の福祉に貢献すること」を建学の精神に掲げ、即戦力の中堅技術者養成を目指して、昭和五十七年四月に開校、第一期生五百二十七人を迎えスタートしました。

この開学院では、最新鋭の教育・実験施設の整備に努める一方豊かなキャンパスライフを目指し総合体育館（千三百七十二平方メートル）アリーナ、六百八十六平方メートルの武道場、全天候型テニスコート四面、野球場などの体育施設の整備を行ってきました。

また、より高度な技術教育の実現を図るため文部省の助成を受け、「モデル工場における群管理システム」（59年）、「人工気候制御装置による室内環境自動計測システム」（60年）、「デジタル交換ネットワークによる文字図形情報処理システム」（61年）、「自由曲面上におけるCAD/CAM統合システム」（平成2年）の導入を行うなど北海道はもとより全国でも有数の教育設備と教育内容を誇る専門学校に成長しました。

平成三年度までの卒業生は三千二百三十六人を数え、登別を第二のふるさとに持つ若い中堅技術者が

が全国に巣立っていきました。



▶文部省助成による最新鋭の教育設備

地域との結びつきもつよくなる

開校して十年。同学院は、すっかり登別に溶けこみ、地域との結びつきも強くなってきました。

毎年開催される工学院祭は、礼内キャンパスを舞台に若者の情熱とエネルギーが溢れ、各学科の発表やイベントには多くの市民が訪れます。又、この工学院祭は、幌別のちようちん祭りとも連動し、工学院生による寮対抗綱引き、花火大会は地域のお祭りを大きく盛り上げます。

更に、一般公開される卒業生の研究作品展示会、市民コンピュータ講座は、同学院ならではの、新しい知識を市民に提供してくれ

ます。

又、平成元年当市で開催された第四十四回国民体育大会バドミントン競技会は、同学院のアリーナをメイン会場に数々の熱戦がくり上げられました。

このように、同学院は、市民に開かれた専門学校として、このまちの活性化に大きな役割を果たしています。

平成三年度現在、同学院には、情報処理科をはじめ情報ビジネス科、情報工学科、機械制御工学科、電子工学科、電気工学科、建築学科、土木工学科の八学科が設置され一・二年生あわせて八百九十七名の学生が学んでいます。

市としては、この十周年を節目に同学院がより一層このまちの活性化に寄与する方向で機能できるようにその環境づくりに努めて行く必要があると考えています。



▲地域の祭りにも積極的に参加

- 昭和五十七年十二月 実験・実習棟完成
- 昭和五十八年三月 総合体育館、男子千歳寮完成
- 昭和五十八年十月 一・二級建築士受験資格認定
- 昭和五十九年一月 二級土木施工管理技術士受験資格認定。
- 昭和五十九年三月 第一回卒業式
- 昭和五十九年七月 第二級陸上無線技術士予備試験免除認定
- 昭和六十二年八月 第三十八回全国高校総体バドミントン選手権大会会場
- 昭和六十二年十月 二級建築施工管理技術士受験資格認定
- 昭和六十三年八月 工事担当者試験科目一部免除認定
- 平成元年一月 一級土木施工管理技術士・一級建築施工管理技術士受験資格認定
- 平成元年九月 第四十四回国体バドミントン競技会場
- 平成二年三月 一・二級電気工事施工管理技術士受験資格認定



女子寮



昭和57年3月新川寮が完成



男子寮

こんなところ あんなところ

私の好きな場所

其の十五：大湯沼・奥の湯
日和山

手前で湯煙を上げてる奥の湯。大きな湖に見えるのが最深部温泉百三十度の大湯沼です。今も煙を吹き上げている山は、昭和新山と同様に地下で溶岩が固結し、大地をおし分けてせり上がってできた日和山です。

地獄谷からクッタラ湖へ向う道道クッタラ湖公園線を車で約五分ほど行くと、切り立った崖下に突然その姿を表わします。



市民登場

友達の輪



垣内登紀子さん
(43歳) 緑町在住

室蘭から来て十五年になりました。消費者協会に入ったのは、こちらに来て間もない頃、知りあいの方が「生活展」の見学に誘ってくださいましてね。それで、入会して今年で十四年目になりました。ボランティアとか、何か人のために役に立とうというので入ったのではなく、そこで自分が何か得るものがあればいいな、そう思っただけで活動しているんです。消費者協会では広報を担当しています。

決してそうではないんですよ。皆さんが、自分のこと、家族のことという具合に、まず、身の回りのことから少しずつ安全な環境をつくりあげようと自覚してもらおうとができればいいんです。消費者協会に入って本当によかったと思っています。授業料なしでいろいろなことが学べますし、なによりも様様な方とおつきあいができますから。それと若いお母さん方に入会してもらいたいと思っています。子供を育てているときに必ず知っておいてよかったなあとと思うこともありますね。へりポーター感 住みよい環境と人との出会い。まさに一石二鳥。

次回は、桜木町在住の佐藤勝明さんです。お楽しみに!!

齊藤淳子

市営住宅「緑ヶ丘団地」 入居者募集

市は、九月十日に完成予定の市営緑ヶ丘団地の入居者を募集します。

▽募集戸数 第一種耐火構造五階建 二LDK・四戸、三LDK・十六戸

※二LDKは老人世帯を優先入居とします。

▽家賃 二LDK・老人世帯三万九千円、一般世帯・三万八千七百円、三LDK・四万四千三百円

▽入居可能日(予定) 平成三年十月一日

▽募集期間 平成三年九月五日～十二日

▽申し込み先 建築課住宅係(☎4399)

※入居を希望される方は、収入などの制限がありますので詳しくは住宅係へお問い合わせください。

婦人水泳教室参加者募集

教育委員会は、次のとおり婦人水泳教室を開きます。

▽日時 前期九月二十六日～十月九日 後期十月十五日～二十一日 日・月曜日を除く毎日、午後一時～午後三時

▽場所 登別市民プール
▽対象 市内に居住または通勤する婦人で初心者

募集人員 前・後期とも四十名(定員になりしだい締め切り)

▽受講料 無料(ただし、スポーツ傷害保険料三百六十円負担)

▽申し込み・問い合わせ 九月十日～十六日(午後一時～午後五時)までに電話で登別市民プール(☎5588)へ申し込みください

※参加者は、水着、ブルキャップ、バスタオルを用意してください。

九月は「障害者雇用促進月間」

体の不自由な方が職業的自立の意欲を持ちながら、働く機会を待っています!!事業主の皆様のご理解とご協力をお願いします。

▽雇用促進会開催 室蘭公共職業安定所は、障害のある方と求人者が集まり、相互の情報交換や面接、各種相談コーナーなどを設け雇用促進を図るため次により行ないますので参加を希望される方はご連絡ください。

▽日時 九月二十七日(金)※求人者と室蘭職業安定所との懇談会 正午～午後一時 ※障害のある方と求人者との触れ合いコーナーなど午後一時～午後四時三十分

▽会場 ホテルセピアス(室蘭市入江町一十二)

▽連絡先 室蘭公共職業安定所(☎28689)

生涯学習 コーナー

開館十周年記念 のぼりべつ 郷土資料館まつり

市教育委員会は、登別市郷土資料館の開館十周年を記念し、手作りの「郷土資料館まつり」を行います。

ご家族、ご近所おさそい合わせのうえ参加してみませんか。

▽日時 九月二十二日(日)午前十一時から午後二時まで(雨天の場合九月二十三日)

▽場所 登別市郷土資料館

▽内容 ◎昔の食べ物を知るコーナー(もち・手打ちそば・とうきび・じゃがいも・かぼちゃ・せんべい)

※約四百食を会場で作って試食サービスを行います。参加者多数の場合は、お年寄りや子どものペアを優先します。

◎昔の子どもの遊びを知るコーナー
実演と体験(竹馬けん玉・コマ・さき舟・パッチ(めんこ)・お手玉(あやこ)・あやとり)

◎昔の生活用具を知るコーナー
実演と体験(石うすひき・ぞうりあみ・薪きり・洗たく・風

呂・照明類(ランプ等)・消防器具(手おしポンプ)

※当日の郷土資料館の入場は無料です。

▽問い合わせ 市教育委員会社会教育課(☎881100)

乳・幼児をもつお母さんのためのセミナー

市教育委員会は、乳・幼児をもつお母さんを対象にした子育てセミナーを三地区で開きます。このセミナーで多くのお友だちをつくらせてみませんか。また、子育てについて悩みごとの相談も行います。

▽テーマ 「すこやかな体と心の成長を願って」

▽内容 子どもの食生活を考える、料理上手も育児の秘けつ?…料理実習、厳しく愛する心を…しつけを考えるお話し、遊びにおける子どもの世界…母と子のリズムあそび、親子で感動する心を…人形劇(あかずきんちゃん)のぼりべつ」の自然と動物を訪ねて…市内バス遠足

▽参加料 一家族千円(料理教材代、バス代、保険料)第一日目に集めます。

▽定員 各地区とも三十組(定員になり次第締め切ります)

▽申し込み・問い合わせ 教育委員会社会教育課(☎881100)で九月九日より申し込みを受け付けます

※託児の用意をしています。

(乳・幼児をもつお母さんのためのセミナー日程表)

	市民会館	婦人センター	鷺別公民館
1	9月18日(水) 午前10時～正午 しつけを考えるお話し	9月18日(水) 午前10時～正午 しつけを考えるお話し	9月18日(水) 午前10時～正午 しつけを考えるお話し
2	9月20日(金) 午前10時～正午 母と子のリズムあそび	9月20日(金) 午前10時45分～正午 人形劇	9月20日(金) 午前10時～午後0時30分 料理実習
3	9月25日(水) 午前10時45分～正午 人形劇	9月25日(金) 午前10時～正午 母と子のリズムあそび	9月25日(水) 午前10時～正午 母と子のリズムあそび
4	9月28日(土) 午前10時～午後0時30分 料理実習	10月1日(火) 午前10時～午後0時30分 料理実習	10月1日(火) 午前10時45分～正午 人形劇
5	10月4日(金)市内バス遠足 雨天	10月7日(月)	市民会館 9時45分 婦人センター 9時30分 鷺別公民館 9時30分 集合

牛乳・乳製品料理講習会

市教育委員会と全国牛乳普及協会は、牛乳及び乳製品を使った料理講習会を次のとおり行います。

▽日時・場所 九月十二日(木) 鷺別公民館、九月十三日(金) 市民会館、いずれも午前10時から午後0時三十分まで

▽講師 千野明子(管理栄養士)

▽材料費 無料

▽定員 鷺別公民館：二十四名、市民会館：三十六名(いずれも定員になり次第締め切ります)

▽用意するもの 前掛け、スカーフ、筆記用具

▽申し込み 鷺別公民館(☎88823)、市民会館(☎881100)でそれぞれ九月七日より受け付けます

交通安全運動人・旗の波作戦

「ただいま」「おかえりなさい」そのひと言が聞きたくて

交通事故は、今年に入っても一向に減少する気配がありません。「交通事故のない、明るく思いやりに満ちたまちづくり」を目指しこの運動を行いますのでぜひ参加ください。

▷実施日 9月19日(木)

※雨天は中止します。

※開会式を8か所で行いますが開会式に参加できない方は、街頭啓発実施場所に直接参加してください。※旗は主催者側で用意しています。

波街頭啓発開会式会場・実施場所

開会式会場	集合時間	街頭啓発実施場所	啓発時間
鷺別小学校グランド	13:40	国道36号線栄町1丁目緑の木公園～鷺別歩道橋～道道室麓現状線鷺別1丁目鷺別郵便局間	14:25～14:55
若草小学校グランド	13:50	道道上登別室蘭線若草小学校～若草中央公園間	14:35～15:05
富岸小学校グランド	13:50	道道上登別室蘭線新生町1丁目サンホームピアオ新生店前交差点～富穂橋間	14:45～15:15
青葉小学校グランド	13:50	道道上登別室蘭線青葉小学校～登別大谷高等学校間	14:40～15:10
幌別小学校グランド	13:50	国道36号線幌別2丁目汐見公園～幌別東小学校間	14:55～15:25
登別中学校グランド	13:40	道道洞爺湖登別線汐見坂バス停～国道36号線登別駅前交差点～登別東歩道橋間	14:35～15:05
幌別東小学校グランド	14:00	幌別東小学校周辺	14:50～15:20
西陵中学校グランド	14:30	西陵中学校グランド(セーフティランナーの歓迎)	14:50～15:40

お米は許可店から買しましょう

米を買う場合は



の標識のある許可店で

知事許可販売店

地区	番号	店舗名	住所	地区	番号	店舗名	住所
登別	1	温泉観光協会	登別温泉町知事館	幌別	19	住々本商店	幌別町 4-7-5
	2	小林商店	中登別町 170番地		20	山崎商店	幌別町 1-3-2
	3	勝間米穀店	登別町 3-5-1		21	中央ストア	登別町 3-13-1
登別	4	盛合商店	登別町 2-28-1	登別	22	木村商店	登別町 4-1-3
	5	相原商店	登別町 2-29		23	セブイレブ 鷺別店	登別町 3-28-1
	6	伊藤商店	登別町 1-43-2		24	中山商店	登別町 3-22-1
登別	7	セブイレブ 千歳店	千歳町 4-5-101	登別	25	藤田商店	登別町 1-29-4
	8	新生米穀店	登別町 5-19-1		26	石田商店	登別町 3-22-1
	9	岸本商店	登別町 8-18		27	玉田商店	戸山町 3-20-10
登別	10	志田商店	登別町 7-22-2	登別	28	中山商店	登別町 3-22-1
	11	長内商店	登別町 1-3-2		29	七配りや	登別町 3-18-1
	12	平成商事	登別町 3-18		30	森藤商店	登別町 4-9-11
登別	13	八重櫻商店	登別町 7-4	登別	31	登別生活協同組合 旭ヶ丘ストア	登別町 3-7-5
	14	安藤商店	登別町 5-1		32	武田商店	登別町 4-8-4
	15	オンマート かわらわ	登別町 2-14-5		特定営業所	33	セブイレブ 新登別店
16	ホームストア 登別店	登別町 6-28-1	34	伊藤見商店		登別町 5-5-14	
17	セブイレブ 新川店	新川町 4-20-1	35	登別生活協同組合 新登別ストア		新登別町 3-13-6	
登別	18	橋本商店	新川町 2-19-8	販売所	36	オンマート 登別店	登別町 4-23

今から約百二十年前、登別に開拓使直営の「登別牧場」が開かれたが、当時の登別地方の山麓はクマ・オオカミの棲息地で、牧場に馬を集めるのは皿に美味しい御馳走を入れ、食べなさいと言って目の前に置くのと同じで、馬は襲われその被害は大きかった。

開拓使に願ひ出ては鉄砲・火薬・弾丸の払い下げを受けて、クマなどの襲撃に備えたが、牧場は白老町竹浦に及ぶ広範囲なので仲々大変であつたらしい。

同じ頃、片倉家旧臣 鈴木留吉、西東勇吾らは驚別米馬(新生・若草・美園町二丁目)・トシケシ(富岸・青葉・若山・緑町)で馬の放牧をしていたが深い原始林と谷地の続くこの土地は、やはりクマの巣で、野獣の被害を受けて困り果てていた。

ところが明治十年(一八七七)官設登別牧場が千歳に移転したので、移転の六年後であつたが、これは幸いとばかりに登別のハシナウシ(登別本町三・富浦町高台)に限定して牧場を移し、牧夫二人を雇い、百余頭の馬を放牧した。結果は、この年二十数頭の馬がクマ・オオカミに倒され、翌年も同様で野獣対策の目もたらず二年余で閉鎖という情けない結果に終わってしまった。

その後、郡内馬のクマなどの被害は、明治十八年(一八八五)馬十余頭、同十九年はオオカミに三頭、クマに六頭、同二十年はオオカミに六頭、クマに十五頭の被害というから、当時の野獣対策は大変であつたらしい。(幌別郡戸長役場。猶この場合のオオカミは、当時ヤマイヌと言われた野犬のよう

に思うが資料は「狼」である。クマについては、アイヌ語のイヨマンテ(熊送り・神送り)が良く知られ、登別地方でも盛大に行

マ(神)をまつり感謝して、神(クマ)の前に御馳走を並べ、酒盛りや歌舞などで歓待し、今度もまた来て下さい、とお願ひして天界に送りかえすのであるから、イヨマンテは祖先からの儀礼による伝統を引きついだ敬けん神への祈りであつたのである。

登別には、金成マツ・知里幸恵・真志保ら偉大なユーカラの語り人や世界的言語学者を輩出しているので、アイヌの歌謡・詞曲・散文物語りなど多く残っている。例えば、クマに化身した神を丁寧にもてなし、神の国へ送るイヨマンテウボボ(熊送り歌)。

郷土史点描

登別の開拓と動物たち

「ヒグマとのかかわりⅡ」

登別郷土文化研究会 宮武 神一



われていた。

アイヌの神は、天界にいる最高の神の命令で、人間に協力するために地上や海や川に降りてくる。クマは天界から山の麓に降りた陸上で最強の山の神(キムンカムイ)がクマに化身したもので、身体に沢山の肉や立派な毛皮などを

持ってコタンにやってくる。コタンの人達は、クマ猟をして捕殺し、肉や毛皮など沢山の贈り物を神から貰ったお礼として、クマ(神)をまつり感謝して、神(クマ)の前に御馳走を並べ、酒盛りや歌舞などで歓待し、今度もまた来て下さい、とお願ひして天界に送りかえすのであるから、イヨマンテは祖先からの儀礼による伝統を引きついだ敬けん神への祈りであつたのである。

姿でツセカリウボボ(綱を・とりまいて廻る・踊り歌)である。神様が山へお帰りになるよ。お見送りの踊りを踊りなさい。それ お見送りの踊りを踊りなさい。

これも、知里博士の「アイヌ文学」に記載されている一例で、登別に残っていたウボボ(祭り歌)「山の神(クマ)を天界に送りだす最後の歌ケヨマンテウボボである。貴重な作品だと思ふ。」

公衆浴場・郷土資料館を

無料開放します

「敬老の日」の記念として、お年寄りに感謝の意をこめ次の無料開放事業が行われます

◎公衆浴場

▽事業主体 北海道公衆浴場業環境衛生同業組合

▽期間 九月十四日～十六日

▽対象 六十五歳以上の方

▽利用方法 公衆浴場の方に申し出てください(何回でも利用できます)

▽問い合わせ

社会課(☎551911)

◎郷土資料館

▽期間 九月八日～十六日、午前

十時～午後四時三十分(九日休館日は除きます)

▽対象 六十歳以上の市民

▽問い合わせ 郷土資料館(☎1339)

九月九日は「救急の日」

救急車は正しく利用しましょう

平成二年中の救急出動件数は、一六八件です。主なものは急病、交通事故、一般負傷で特に交通事故の出動が昨年と比べ増えております。救急車はこのように多くの人に利用されておりますが、依然として緊急性のない軽いケガなどで出動要請されることがあります。救急車は正しく利用しましょう。

◎講習会のお知らせ

消防本部は、心肺生法やケガなどの応急処置の講習会を開きます。▽日時 九月十四日(土)午後一時～午後三時

▽場所 市役所第二庁舎(二階)▽定員 五十名

▽内容 心肺生法の実技講習など

▽締め切り 九月十三日(金)

▽申し込み先 消防署(☎552551)

行政書士

「くらしの無料相談」

相続、年金、役所の手続きなどよくわからないことについてお気軽にご相談ください。

▽日時 九月二十三日(月)午前

十時～午後三時三十分

▽会場 室蘭ファミリアアパート 桐屋

▽問い合わせ 北海道行政書士会

室蘭支部行政書士村上 清事務

所(☎0142762376)

地域集會を開催します

「登別市民憲章推進協議会」

登別市民憲章推進協議会は、市民憲章の推進及び普及並びに明るく住みよいまちづくりのため次により地域集會を開きます。

▽日時 九月八日(日)午後六時

三十分

▽場所 千代の台集會所

▽対象 新生連合町内会

消防本部は、心肺生法やケガなどの応急処置の講習会を開きます。▽日時 九月十四日(土)午後一時～午後三時

▽場所 市役所第二庁舎(二階)▽定員 五十名

▽内容 心肺生法の実技講習など

▽締め切り 九月十三日(金)

▽申し込み先 消防署(☎552551)